



第9回常任理事会

日時 平成28年7月12日（火）18：00～19：00
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・林・笹本・櫻井各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事（事務局：安達局長ほか12名）

協議事項

第1号 北海道がん対策推進委員会(がん検診専門部会)特別委員の推薦について（三戸常任理事）

伊藤常任理事を推薦することと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座13件、道医認定生涯教育講座33件の計46件を承認。

報告事項

1. 北海道・医師の総活躍プロモーション検討会[6月4日(土)] について（藤井常任理事）

北海道の医療に若手医師がどのように貢献できるかを検討してもらうことを目的に開催した。議事では、北海道医師会勤務医部会の中に若手世代が参画する専門委員会を勤務医部会設置規程に基づいて設置することを検討し、勤務医部会運営委員会に提案することとした。

2. 北海道の地域医療を考える若手医師ワーキンググループ [6月4日(土)] について

（藤井常任理事）

やがて北海道内の地域医療を支える一員となる医学生ならびに若手医師に、共に活動する場と地域医師会の先生方から学ぶ機会を提供し、医師会の活動を通して10年後、20年後に北海道で活躍できるよう支援し、併せて医師会への理解を深めてもらうことを目的に開催した。議事では、医学生・若手医師向けのイベントならびに勉強会の企画について検討し、ワーキンググループが企画するキャリアデザインを考えるセミナーを、7月24日（日）13時から開催することとなった。

3. 第1回産業保健活動推進委員会[6月29日(水)] について（生駒常任理事）

小職より昨年度の産業保健研修会の実施状況、日医産業保健委員会の検討内容について報告があった後、今年度の産業保健研修会（5回）の講師を決定した。また、北海道の補助事業である北海道地域自殺対策強化事業の若年層対策として、当会地域保健部の所管により開催している一般住民対象のメンタルヘルスセミナーについても、日程と講師の調整を行った。

4. 医師会立准看護学校等連絡協議会[7月9日(土)] について（藤井常任理事）

看護師課程も含めた医師会立のすべての看護学校の関係者10校21名の参加で開催した。はじめに北海道保健福祉部から、今年度中の需給取りまとめを目標としている看護職員需給見通しの策定についての説明等があり、医師会からは日医医療関係者検討委員会の報告を行った。協議では、小樽市医師会からの要望に基づき実施した医師会立看護学校入学者・卒業生動向調査報告と、事前に提出のあった各学校が現在かかえている問題について意見交換を行った。また、昨年要望のあった情報交換の場を提供したところ、協議会終了後に各学校間で十分に情報を共有できたとのことであった。

5. 第1回勤務医部会運営委員会 [7月9日(土)] について（藤井常任理事）

郡市医師会の役員改選により変更となった部会員と、5月に実施した地域医療の現況調査の集計結果を報告した。協議では、北海道医師会勤務医部会若手医師専門委員会の設置を承認し、地域医療の現況調査結果に基づき作成する報告書、来年度に北海道で開催する全国医師会勤務医部会連絡協議会のプログラム等について検討した。

6. 勤務医の勤務環境改善支援セミナー [7月9日(土)] について（藤井常任理事）

北海道医療勤務環境改善支援センターとの共催で、勤務医の働きやすい環境づくりのため、勤務医の疲弊の原因の一つとして挙げられる患者からのクレームや暴力に対して、腰の引けない医療を実践・実現する対応策等を学ぶことを目的に開催した。「患者はなぜ怒る！クレーム・暴力の対応」と題して、学校法人慈恵大学総務部渉外室・横内名誉顧問から、危機管理の要諦、離脱術、クレーム・暴力の対応策、暴力事件発生時の措置などについて講演があった。参加者は128名であった。

7. 中央情勢報告（笹本常任理事）

「厚生労働省の人事等について」

6月21日付けで発令された厚生労働省の幹部人事について、情報提供した。北海道へ出向経験のある3名が幹部となっている。

8. 各部報告

(1) 当会の医療事故調査等相談窓口対応状況について（水谷常任理事）

6月14日から7月11日までに、標記相談窓口にて問合せがあり当番の役員が直接対応した案件の基本情報等について報告した。

(2) 平成28年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会〔8月21日(日)〕について（林常任理事）

日本医師会主催で8月21日(日)午前10時～午後5時30分に開催される本研修会が、昨年度に引き続き、テレビ会議システムにより都道府県医師会へ中継されることとなったため、当会館においても8階会議室に会場を設置することとした。定員は130名で、受講料については、昨年度と同様に日医会員は無料、当会まで加入の会員は20,000円、郡市医師会のみ加入の会員は30,000円、郡市医師会非会員は50,000円とした。受講者の募集は、各郡市医師会への案内のほか、当会ホームページ、当会員メーリングリストを通して行う予定である。

9. その他

(1) 北海道ドクターズゴルフ協議会役員会〔7月3日(日)・北広島市〕について（伊藤常任理事）

札幌市医師会の担当により札幌国際カントリークラブにて開催し、参加者は199名であった。役員会では、役員の一部変更、昨年の決算報告・監査報告を承認し、続いて、第51回大会(平成29年度)は、旭川市医師会の担当で7月2日(日)大雪山カントリークラブで開催することを確認し、第52回大会(平成30年度)は、室蘭市医師会の担当で室蘭ゴルフ倶楽部・白鳥コースで開催することを承認した。

第3号 その他

(1) 8月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. 北海道医師会・北海道保健福祉部 懇談会〔7月12日(火)〕について（三戸常任理事）

北海道保健福祉部より、所管している本年度の重点政策および予算の概要について説明があり、意見交換が行われた。その後、小職から当会の事業計画・役員会務分担を説明した。道庁関係者の出席は53名であった。

2. 北海道看護協会との懇談会〔7月15日(金)〕について（伊藤常任理事）

北海道看護協会の担当で開催した。昨年10月1日施行された特定行為に係る看護師の研修制度について話題提供があり、意見交換を行った。

3. 北海道有床診療所協議会総会〔7月16日(土)〕について（林常任理事）

小職より日医委員の立場から昨年度の日医有床診療所委員会の答申について報告した。また、本年度は役員改選期にあたるため、沖会長ほか役員を選出した。沖会長からは「有床診療所の役割は地域包括ケアシステムの構築を進める上でますます重要となるため、結束を固めていく必要がある」との再任挨拶があった。

4. 医学生・若手医師キャリアデザインセミナー〔7月24日(日)〕について（藤井常任理事）

北海道の地域医療を考える若手医師ワーキンググループが企画し、道内の地域医療を支える一員となる医学生・若手医師たち自らのキャリアデザインを考え、医師としてのキャリアをスタートさせるにあたり、専門医制度について学ぶことを目的に開催した。「新専門医制度－新たな仕組みと若手医師－」と題して北海道大学大学院医学研究科生殖内分泌・腫瘍学分野の櫻木教授から、「これからの医療ニーズと北海道の研修体制について」と題して北海道保健福祉部地域医療推進局・石井医療参事から、それぞれ話題提供があり、その後「専門医制度を学び、これからのキャリアを考える」をテーマにワールドカフェ形式(対話手法)のワークショップを行った。参加者は、医学生・研修医・医師20名であった。

5. 北海道がんサミット2016〔7月24日(日)〕について（伊藤常任理事）

「患者が望むがん対策～全国で2番目に高い死亡率を下げるために～」をテーマに、北海道がん対策「六位一体」協議会(当会も構成団体として参画)の主催のもと開催した。第一部の講演では「北海道の六位一体のがん対策～あなたの参画による目標達成への旅～」と題したNPO法人がん政策サミット・埴岡理事長ほか3名の講演が行われた。第二部のグループワークでは、がんの診断と治療、がんの早期発見、がんの予防、普及啓発とがん教育、患者への相談支援・情報提供、患者の就労、緩和ケアの7

第10回常任理事会

日時	平成28年7月25日(月) 18:30～20:23
場所	北海道医師会館9階・理事会室
出席者	長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・後藤・林・笹本・櫻井各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事 (事務局:安達局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件 (三戸常任理事)

再審申請者3名を指定医師とすることと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座48件・道医認定生涯教育講座33件の計81件を承認。

つのグループに分かれ、それぞれの分野ごとに北海道のがん対策の問題点をあげ、それぞれ施策を検討した後、グループごとに結果発表を行った。参加者は約250名であった。なお、本サミットでの検討結果については、後日、北海道知事、札幌市長、がん対策北海道議会議員の会へ要望書として提出する予定。

6. 外部各委員会報告

(1) 第1回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会 [7月5日(火)] について(小熊副会長)

地域枠の医師が専門医の資格を取得する上で、初期臨床研修後、遅れることなくキャリア形成が可能となるよう、意見交換を行った。地域勤務の年数を変更することなく、各研修プログラムの実施時期に変更を加えることで、義務年限内に専門医の取得が可能となる計画案が出されたが、すべての診療科で実施可能かどうかを検証した上で、引き続き検討を行うこととなった。

(2) 道東ドクターヘリ運航調整委員会 [7月13日(水)・釧路市] ならびに道北ドクターヘリ運航調整委員会 [7月21日(木)・旭川市] について(目黒常任理事)

道東の委員会では、運航実績等について報告および説明があった後、十勝圏への運航拡大について報告があった。最後に運航要領の改正について協議を行い、原案どおり承認された。(昨年度 出動要請件数：761件)

道北の委員会では、運航状況について報告があった後、事業活動、十勝圏域への本格運航開始に伴う経過報告、運休に関する経過報告について、それぞれ説明があった。(昨年度 出動要請件数：679件)

(3) 第1回北海道学校保健審議会 [7月14日(木)] について(藤原副会長)

会長に当会・長瀬会長、副会長に江差町教育委員会・新木教育長を選出した後、学校保健および学校安全ならびに学校給食文部科学大臣表彰推薦候補者について協議を行い、学校保健表彰候補者6名と学校安全表彰候補1校を推薦した。その後、児童生徒の心の健康に関する調査について説明があった。

(4) 北海道介護保険審査会(全体会議) [7月14日(木)] について(林常任理事)

会長に小職、副会長に北海道老人福祉施設協議会副会長の杉野委員が選出された。続いて、三者代表合議体所属委員、公益代表合議体所属委員(案)が承認され、最近の介護保険制度の施行状況について北海道から説明がなされた。その後、各合議体で、介護保険料賦課処分等に係る審査請求2件、要介護(支援)認定に係る審査請求1件について審査した。

(5) 第1回北海道がん対策推進委員会 [7月20日(水)] について(長瀬会長)

はじめに、がんの予防、がんの早期発見を含めた北海道がん対策推進計画に関する各項目ごとの進捗状況について協議した。今月中に意見を取りまとめた上で、9月を目途に北海道のホームページへ掲載される予定。報告事項としては、本委員会の4番目の専門部会としてがん検診専門部会が設置されること、北海道がん対策基金の現況、北海道がん対策サポート企業等登録制度(がん対策の推進にご協力いただいている企業を対象に優遇措置を実施)についてそれぞれ報告があった。

(6) 離職看護職員相談事業協議会 [7月21日(木)] について(深澤副会長)

昨年度の事業報告があり、続いて本年度の事業計画では、離職中の看護職に対して、離職理由に応じて定期的に支援を続け、求職者となるよう働きかけ、ナースセンター事業への登録につなげるための北海道ナースセンター体制の整備、届出制度の広報などについて検討した。

(7) 全道地域産業保健センター長会議 [7月24日(日)] について(生駒常任理事)

平成26年産業保健活動総合支援事業(三事業一元化)開始後、初めて道内各地の地域産業保健センター長を招集して開催された。北海道産業保健総合支援センター・石津副所長より昨年度地域産業保健センター事業報告および本年度事業運営方針について説明を行った。続いて小職より第37回産業保健活動推進全国会議の報告、北海道労働局・庭山労働基準部長、木村健康課長より労働基準行政に関する説明の後、各センターからの要望、意見交換が行われた。

7. その他

(1) 世界医師会(WMA)台北総会ツアー [10月19日(水)～22日(土)・台湾(台北)] について

(三戸常任理事)

台北で開催される今年度の世界医師会総会につき説明し、参加を募った。

道総医協関連事項(深澤副会長)

1. 第2回地域医療専門委員会 [7月13日(水)] について(小熊副会長)

地域医療構想の策定に関して、調整会議を終了した20医療圏の方針概要、調整会議等の議論を踏まえて構想に記載する内容および今後のスケジュールなどについて説明があり、了承された。委員からは口腔ケアの記載を盛り込むべく要望があった。その後、へき地保健医療計画[改訂版]について説明があり、提案どおり改訂作業を進めていくこととなった。

2. 地域医療専門委員会第1回看護対策小委員会 [7月22日(金)] について(北野常任理事)

平成30年度からの看護職員需給見通しについて、

地域医療構想との整合を図りながら、国が定める推計方法等に基づいて策定することとなるため、28年度、29年度の見通しは策定しない。今回は、臨時委員6名が加わり、合計11名の委員で検討し、10月には国への需給推計を提出、来年1月に北海道看護職

員需給見通し策定を公表するスケジュールである。意見交換では、北海道において札幌市の地域医療計画が最終的にまとまるのが年末頃と言われているので、道内4割を占める地域の数値が把握できない状況では正しい推計にならないとの指摘があった。

道医の動き

- 7月11日 三役会、北海道厚生局との打合せ
- 7月12日 第9回常任理事会、広報委員会、北海道保健福祉部との懇談会
- 7月13日 道東ドクターヘリ運航調整委員会(釧路市、目黒常任理事)
- 7月15日 北海道看護協会との懇談会、北海道医学大会幹事会・連絡協議会
- 7月16日 健保請求事務講座
- 7月17日 臨床研修病院合同プレゼンテーション東京(東京都、長瀬会長)
- 7月21日 日医医療情報システム協議会運営委員会(藤原副会長)、道北ドクターヘリ運航調整委員会(旭川市、目黒常任理事)
- 7月23日 健保請求事務講座
- 7月24日 医学生・若手医師キャリアデザインセミナー
- 7月25日 三役会、第10回常任理事会、学術部担当理事会
- 7月26日 日医理事会(長瀬会長)、日医役員就任披露パーティ(東京都、長瀬会長、深澤・藤原両副会長)

- 7月27日 医事紛争処理委員会、東北・北海道医師会共同利用施設連絡協議会に関する函館市医師会との打合せ(函館市、伊藤常任理事)
- 7月28日 地区別事務懇談会(道南・空知ブロック)
- 7月29日 地区別事務懇談会(中央・道東ブロック)
- 7月30日 全国有床診療所連絡協議会総会(～31日、静岡県静岡市、長瀬会長、伊藤・林両常任理事)、男女共同参画フォーラム(栃木県宇都宮市、藤井常任理事)
- 8月4日 北海道医師会賞受賞者選定委員会、医育ブロック会議
- 8月5日 地域医療に関わる地域別意見交換会(函館市、長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、伊藤・北野・目黒各常任理事)
- 8月6日 女性医師等支援相談窓口コーディネーター連絡会、女性医師等相談窓口利用者とコーディネーターとの懇談会
- 8月7日 「地域包括ケアシステムの構築の推進に向けた取組」シンポジウム、母体保護法指定医師研修会
- 8月8日 札幌圏域地域医療構想調整会議
- 8月9日 三役会、第11回常任理事会、広報委員会
- 8月10日 北海道厚生局との打合せ